キャラクター名
稲神 唯(いながみ ゆい)

プレイヤー名

シンドローム	ブラックドッグ オルクス	ワークス	UGNチルドレンC	カヴァー	
オプショナル		年齢	10才	性別	女

覚醒	生誕	衝動	恐怖	初期侵食率	34 %
出自	名家の生まれ	経験	大きな転機	邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	2	0	0			2
精神	2	1	0	2		5
社会	2	0	0			2

HP	29
行動値	9
(非装備時)	9
戦闘移動	14
全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	2		交渉		
回避	1		知覚			意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
通常攻撃(雷の槍)	ＲＣ	9r+2	8	15		10浸食値、装甲無視、至近攻撃不可
プラズマランサー(雷帝の槍)	ＲＣ	9r+2	8	15+3D		16浸食値、装甲無視、至近攻撃不可(雷帝あり)
トライデントスマッシャー	ＲＣ	9r+2	8	15		12浸食値、装甲無視、３体選択、至近攻撃不可
トライデントサンダー	ＲＣ	9r+2	8	15+3D		18浸食値、装甲無視、３体選択(雷帝あり)、至近攻撃不可

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
雷帝	P	N		
お父さん	P 好意	N 不安		
お母さん	P 好意	N 後悔		
犬神由希	P 友情	N 脅威		
七尾奈々	P 友情	N 不安		
蛇縞深緑	P 友情	N 不安		
白々炎乃花	P 信頼	N 隔意		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
コンセントレイト	2	2	メジャー	-	-	対決	-	
効果：	C値を-【LV】							
雷の槍	2	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果：	攻【LV×2+4】、判定-1D							
鋼の顎	2	3	メジャー	視界	-	対決	-	
効果：	攻【+7】、1シーン/LV回							
アニマルテイマー	3	3	メジャ/リアク	-	-	-	-	
効果：	+【LV+1】D個							
雷神の降臨	3	6	セット	至近	自身	自動	100↑	
効果：	ラウンド中の攻【LV×5】							
雷帝	2	6	メジャー		-	対決		
効果：	+3D、1シナリオ/LV回							
縮地	3	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：	戦闘移動の際に好きな場所							
要の陣形	2	2	オート	至近	単体	自動	-	
効果：	対象を３体へ変更、１シナリオ/LV】回							
テレキシネス	★	-	メジャー	視界	交換参照	自動	-	
効果：	シーンの物を動かす							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

稲神 唯(いながみ ゆい)
==========
10歳　小学５年生
日本のどこかに火雷大神(ほのいかづちのおおかみ)をまつる由緒正しき神社の娘だった。
生まれたときから、近くのものを浮かしたりする【テレキシネス】を習得済み。

【現在】
小学５年の現在、飛雲市の学園区初等部。
まじめで明るくふるまっているが過度にかかわろうとはしない。
過去の経緯から人との深いかかわりをさけている。
同級生や人との交流はあるが

【過去の経緯】
２年前、帰宅すると家かをおっていると・・』
ら嗅いだことのない匂いが神社の拝殿から漂ってくる。
何かがおかしいと思った彼女は拝殿へと足を踏み入れる。
いつもの拝殿とは違い、父親がいない。母親もいない。神棚も荒らされている。
よくある犯罪番組にある万引き犯が荒らすような形で者が散乱している。
奥の本殿から母親の『父親』の名前を叫ぶような声が奥から聞こえる。
少女は不安になる。慎重に進めていた足取りは次第に駆け足となる。
拝殿から幣殿へと本殿へと走る。少女が見たものは惨劇だった、父親は血だらけで倒れ、
母親は男３人に言いつめられるような形で追い詰められる。